

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月10日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 立花エレテック

コード番号 8159 URL <http://www.tachibana.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊武雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門担当 (氏名) 住谷正志

TEL 06-6539-2718

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	18,402	△37.8	△459	—	△356	—	△205	—
21年3月期第1四半期	29,609	—	638	—	782	—	467	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△9.83	—
21年3月期第1四半期	21.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	57,342	32,659	56.9	1,563.64
21年3月期	63,755	32,549	51.0	1,558.25

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 32,604百万円 21年3月期 32,494百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	53,000	△17.2	510	△72.9	550	△72.8	330	△56.3	15.83
通期	110,000	△5.6	1,930	△25.8	2,000	△24.7	1,150	△17.6	55.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 21,381,102株 21年3月期 21,381,102株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 529,430株 21年3月期 528,220株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 20,851,750株 21年3月期第1四半期 21,283,769株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における当社企業グループの業績は、一部で景気後退の底入れ感が見られるものの、企業収益の低迷から設備投資は縮小し、雇用不安による個人消費の低迷など厳しい状況で推移いたしました。

事業別の売上高については以下の通りであります。

F Aシステム事業分野においては、サーボ、インバータ、プログラマブルコントローラなどのF A製品全般と放電・レーザー加工機などの産業機械の受注が減少し、前年同期比46.5%の減少となりました。

半導体デバイス事業分野は、エアコン、白物家電用のマイコンやパワー素子、プロジェクター用光源ランプのデバイス品などが減少し、同31.1%の減少となりました。

情報通信事業分野は、監視カメラなどの情報セキュリティ関連製品は伸長しましたが、P H S基地局の委託生産の終息とタッチパネルシステムの減少により、同34.5%の減少となりました。

施設事業分野においては、オール電化製品などの住機品が好調に推移するものの、マルチエアコンなどの冷熱品が減少し、同12.1%の減少となりました。

その他の分野では、鉄道車両向け金属加工品は堅調でありましたが、チップコンデンサー用ニッケルペーストなどの電子材料が低調であり、同40.9%の減少となりました。

また、厳しい経営環境の下で費用の削減に努めることで販売管理費用は減少しました。

その結果、第1四半期連結累計期間の業績は、売上高184億2百万円(前年同期比37.8%減)、営業損失4億59百万円、経常損失3億56百万円、四半期純損失2億5百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりです。

[日本] 売上高：166億22百万円 営業損失：4億80百万円

世界経済の失速により、F A機器、産業機械、半導体、情報通信、設備機器などの全般にわたり減少しました。

[アジア] 売上高：21億46百万円 営業利益：21百万円

世界経済の失速により、F A機器、半導体が減少しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における資産合計は、573億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億12百万円減少いたしました。

流動資産は459億78百万円となり、前連結会計年度末に比べて68億59百万円減少いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が76億10百万円減少したことによるものです。

固定資産は113億63百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億46百万円増加いたしました。この主な要因は、株価上昇に伴い投資有価証券が7億20百万円増加したことによるものです。

当第1四半期末における負債合計は、246億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ65億22百万円減少いたしました。

流動負債は239億34百万円となり、前連結会計年度末に比べて65億84百万円減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が65億48百万円減少したことによるものです。

固定負債は7億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円増加いたしました。この主な要因は、退職給付引当金の増加13百万円と繰延税金負債の増加39百万円によるものです。

当第1四半期末における純資産合計は326億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億9百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の減少4億13百万円とその他有価証券評価差額金の増加4億18百万円によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、107億91百万円となり、前第1四半期末より16億82百万円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、17億87百万円の収入となりました。これは主に売上債権の減少額81億35百万円やたな卸資産の減少額4億65百万円などの増加と、仕入債務の減少額66億71百万円などの減少によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、29百万円の収入となりました。この主な内容は定期預金の払戻しによる収入98百万円、有形固定資産の取得による支出12百万円、無形固定資産の取得による支出50百万円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億25百万円の支出となりました。この主な内容は短期借入金増加による収入56百万円、長期借入金の返済による支出1億3百万円、配当金の支払額2億9百万円などによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績見通しにつきましては、平成21年5月12日に公表いたしました業績予想を据え置いております。

4. その他

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計処理基準に関する事項の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,815	9,236
受取手形及び売掛金	27,618	35,228
商品	6,342	6,780
仕掛品	51	14
原材料	2	2
その他	1,181	1,618
貸倒引当金	△33	△43
流動資産合計	45,978	52,837
固定資産		
有形固定資産	3,299	3,355
無形固定資産	357	355
投資その他の資産		
投資有価証券	6,939	6,219
その他	1,017	1,238
貸倒引当金	△250	△250
投資その他の資産合計	7,707	7,207
固定資産合計	11,363	10,917
資産合計	57,342	63,755
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,198	25,746
短期借入金	2,318	2,338
未払法人税等	51	107
賞与引当金	276	542
その他	2,089	1,783
流動負債合計	23,934	30,519
固定負債		
長期借入金	117	109
退職給付引当金	430	417
負ののれん	14	4
その他	185	155
固定負債合計	748	686
負債合計	24,683	31,205

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,692	5,692
資本剰余金	5,571	5,571
利益剰余金	21,521	21,935
自己株式	△447	△446
株主資本合計	32,336	32,752
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	463	44
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△195	△303
評価・換算差額等合計	267	△258
少数株主持分	54	55
純資産合計	32,659	32,549
負債純資産合計	57,342	63,755

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	29,609	18,402
売上原価	25,990	16,117
売上総利益	3,619	2,284
販売費及び一般管理費	2,980	2,744
営業利益又は営業損失(△)	638	△459
営業外収益		
受取利息	12	3
受取配当金	60	41
負ののれん償却額	1	1
為替差益	81	16
持分法による投資利益	31	62
その他	24	24
営業外収益合計	213	148
営業外費用		
支払利息	16	9
売上割引	45	25
その他	7	9
営業外費用合計	69	45
経常利益又は経常損失(△)	782	△356
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	11
特別利益合計	—	11
特別損失		
投資有価証券評価損	—	4
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	4
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	781	△349
法人税等	313	△145
少数株主利益	0	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	467	△205

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	781	△349
減価償却費	90	89
のれん償却額	11	11
負ののれん償却額	△1	△1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21	△11
受取利息及び受取配当金	△73	△44
支払利息	16	9
為替差損益(△は益)	△29	8
持分法による投資損益(△は益)	△31	△62
売上債権の増減額(△は増加)	4,035	8,135
たな卸資産の増減額(△は増加)	△946	465
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,144	△6,671
その他	157	231
小計	1,845	1,812
利息及び配当金の受取額	91	53
利息の支払額	△16	△8
法人税等の支払額	△489	△68
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,431	1,787
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△33	△12
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
その他	△124	44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△160	29
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△101	56
長期借入れによる収入	6	32
長期借入金の返済による支出	△107	△103
自己株式の純増減額(△は増加)	△6	△0
配当金の支払額	△234	△209
少数株主への配当金の支払額	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△444	△225
現金及び現金同等物に係る換算差額	△119	75
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	707	1,666
現金及び現金同等物の期首残高	8,401	9,125
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,108	10,791

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

当社企業グループは、各種電機・電子関連製品の販売を主としており、製品の種類・性質、販売市場等の類似性から判断して、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

当社企業グループは、各種電機・電子関連製品の販売を主としており、製品の種類・性質、販売市場等の類似性から判断して、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%超であるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	16,323	2,079	18,402	—	18,402
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	299	67	366	(366)	—
計	16,622	2,146	18,769	(366)	18,402
営業利益又は営業損失(△)	△480	21	△459	(0)	△459

(注) 1 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

アジア：シンガポール、中国、台湾、韓国、タイ

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	2,125	14	2,139
II 連結売上高(百万円)	—	—	18,402
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.5	0.1	11.6

(注) 1 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

アジア：シンガポール、中国、台湾、韓国、タイ

その他：アメリカ、フランス

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) その他の情報

当社は、平成20年10月24日付けにて、マックス株式会社より、同社に納入した住宅用火災報知器の不具合について、同製品の取引解除による支払済み代金の返還及び同製品の回収費用、その他の費用の損害賠償請求の訴訟（請求額837百万円及びうち566百万円に対する遅延損害金）を提起され、現在係争中であります。

当社はこの訴えについて、請求全部を不当として争っているだけでなく、当該取引に係る未回収の売買代金等の支払いを求め、平成21年6月16日付けで反訴（請求額221百万円及びそれに対する遅延損害金）を提起しており、現在係争中であります。